

硫黄島 平成 17 年（2005 年）年報

○ 平成 17 年の概況

硫黄岳火口及びグスク火山火口で弱い噴気が確認されましたが、火山活動の活発化を示す様子はみられませんでした。

○ 火山情報の発表状況

火山情報の発表はありませんでした。

○ 噴気の状態

硫黄岳火口（島の北側、図 1）およびグスク火山火口（島の中央部、図 1）で、弱い白色の噴気が年間を通して観測されました[※]。噴気の最高は 4 月 26 日及び 8 月 10 日に観測された火口縁上約 500m でした。4 月 25 日には沖縄永良部島（硫黄島の南東約 65km）の住民から硫黄島の方に噴煙が見えたとの目撃情報があり、翌 26 日の海上保安庁の観測で硫黄山火口から火口縁上約 500m に上がっている白色の噴気が確認されました。

○ 変色水の状態

島の周辺に変色水は確認されませんでした[※]。

○ 火山性地震の発生状況

気象研究所と東京大学地震研究所が共同で実施している地震観測によると、地震活動には特に異常はありませんでした。

※） 4 月 26 日、6 月 22 日、8 月 10 日、9 月 2 日、11 月 1 日、9 日、11 日及び 12 月 12 日に海上保安庁が上空から実施。7 月 16 日及び 10 月 19 日に気象庁長崎海洋気象台の観測船「長風丸」の船上から実施。

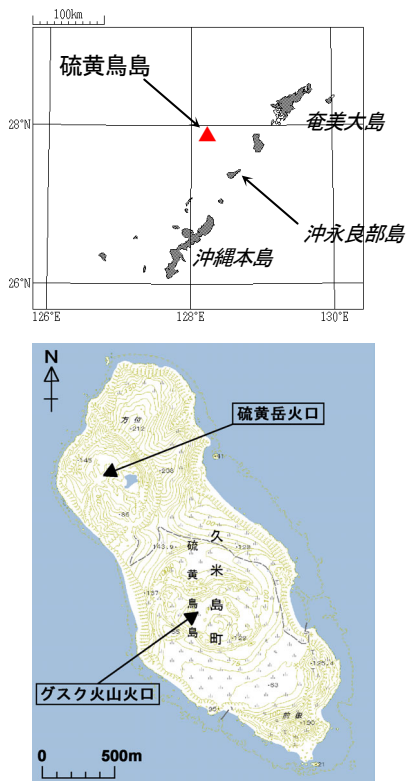


図 1 硫黄島 火山及び各火口の位置



図 2 硫黄島 噴気の状態（2005 年 4 月 26 日）

※この資料は気象庁のほか、海上保安庁のデータ等も利用して作成しています。